

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		観光振興各種負担金	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	集客資源の創出と充実	種別	任意的事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供	市民協働	
予算科目コード		01-070102-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
県と共に観光振興に向け施策を実施し，市の観光PRを強化する。	・漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 観光ポスター・パンフレット，いばらきよいとこプラン等 ・茨城県観光物産協会負担金 各地での物産展出展，インバウンド研修，観光いばらきHP等
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
県で実施している観光協議会等に対し，負担金により支援を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等，守谷の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	527	529	529	529	529
	国・県支出金	0	5	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	527	524	529	529	529
正職員人工数（時間数）		26.00	9.00	10.00	0.00	0.00
正職員人件費		107	37	42	0	0
トータルコスト		634	566	571	529	529

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		観光PR事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成24年度～
	施策	集客資源の創出と充実	種別	任意の事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供	市民協働	
予算科目コード		01-070102-06 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） ・PRパンフレット配布 ・市外イベント参加
守谷市観光の魅力を市民にPRするとともに、市外への認知度向上を図る。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷市の様々な魅力を知ってもらうために、市外に対して情報を発信することにより、認知度の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等、守谷の魅力をより多くの人に知ってもらう。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
昨年度に引き続き、漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会（ツアーオフィス）主催の市内観光バスツアーを実施したところ、今年度もいち早く満員となる人気のツアーとなった。より多くの市外者を守谷へ呼び込むためのPRが必要である。	イベントパンフレットの作成 11月 課内打合せ 12月 作成 1月から 配布 来年度のバスツアーに向けて 2月～3月 県、市内企業と打合せ
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
市内イベントのパンフレットを作成し、市内観光パンフレットと併せて配布する。 市内バスツアーの継続に向け市内企業との連携を図る。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	市外者へ向けた守谷市の観光PRを継続して実施する必要がある。 次年度については、市外イベント参加するために必要な参加負担費用やPRに必要な備品や消耗品を揃えるための経費。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
市外イベント参加時に守谷市のPRをする等情報発信するとともに、市内企業と連携し市内観光バスツアー等により、効果的なPRを推進していく。	世界キャラクターサミット（守谷）、ヨーグルトサミット（小美玉市）等新たなイベントに参加した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
イベント等の情報発信数（回）	5.00	7.00	8.00	7.00	7.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	新たなイベントへの参加により、PRが図れ知名度向上した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	引き続き、市内外のイベントの参加し、PRに努める。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	296	135	132	854	854
	国・県支出金	0	0	5	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	296	135	127	854	854
正職員人工数（時間数）		540.00	425.00	441.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,214	1,743	1,841	0	0
トータルコスト		2,510	1,878	1,973	854	854

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		守谷市観光協会補助事業		担当課
				経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	集客資源の創出と充実		種別
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供		市民協働
予算科目コード		01-070102-07 単独	根拠法令・条例等	
				補助事業

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和57年北守谷地区の開発等により人口が増加するなど街が大きく変化し始めた時期に、守谷のPRと観光振興のために設立された守谷市観光協会の支援を行う。	守谷市観光協会による観光資源の発掘や開発、観光活動に対して補助金により支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷市観光協会の活動を支援することにより、観光資源づくりや守谷市の魅力発信を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等、守谷の魅力をより多くの人に知ってもらう。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市観光協会による観光資源の発掘や観光活動を支援するための補助金である。 現在、鳥のみちの木道改修作業中であり、「守谷野鳥のみち」の完成後は、市内外から多くの来訪者が見込まれるため、今まで以上に整備等の管理や対策が必要である。	平成30年度 11月～ 維持管理費用の確認、予算計上 「守谷野鳥のみち」完成後 観光協会によるパトロールの継続（安全点検）、散策路と新木道の補修作業、整備
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
市内外から多くの来訪者が見込まれるため、散策路や新木道のパトロールの継続実施、木道防腐塗装等の維持管理費用や整備費用の予算を計上をする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	リニューアル予定の「守谷野鳥のみち」へ多くの来訪者が見込まれるため、整備・維持管理費用が必要となるため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
公益団体である観光協会に対する補助事業であるため、現状維持とする。	観光資源の発掘や開発、観光活動を支援するため補助金を交付した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
情報発信の種類	3.00	7.00	10.00	10.00	10.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	「発見のまち守谷」，「歩こうマップ（黄色）」，「歩こうマップ（緑）」，「守谷城址・野鳥の森周辺自然環境調査報告書」，「守谷野鳥の森散策路と鳥のみち」，「市民のつくった守谷史」，「歩こうマップ（黄色:H29/3/31発行）」，守谷野鳥の道，守谷野鳥のみち自然園HP，守谷野鳥のみちポスター中吊り等でPRが図れたことで多くの方が訪れている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	観光協会に対する補助であり，市内観光資源の発掘や管理，市全体の観光に資するPR等の事業であるため，現状維持とする。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	800	800	800	1,400	1,400
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	800	800	800	1,400	1,400
正職員人工数（時間数）		240.00	152.00	112.00	0.00	0.00
正職員人件費		984	623	468	0	0
トータルコスト		1,784	1,423	1,268	1,400	1,400

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		守谷生まれの食品推進事業		担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間	平成27年度～
	施策	集客資源の創出と充実		種別	任意の事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供		市民協働	
予算科目コード		01-070102-12 単独	根拠法令・条例等	・ 守谷市いただきます条例 ・ 守谷生まれの食品推進協議会設置要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成27年度に制定された「守谷市いただきます条例」に基づき、食のまちづくりの推進に関する施策を推進するため、守谷生まれの食品推進協議会が発足した。	食のまちづくり施策として、安全で安心な食品の生産や供給，地産地消と食育を推進するため，市民，生産者，事業者等の委員で構成された守谷生まれの食品推進協議会で，食に関する施策や推進を行う方法等について検討を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
食をとおして家庭や地域の絆を築き，守谷の新たな魅力を発信するとともに地産地消を推進し，食に関する産業の発展と健康で豊かな市民生活の実現を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等，守谷の魅力をより多くの人に知ってもらう。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷生まれの登録事業者数が予定より少ないため，更なるPRが必要である。	平成30年12月　PR用品の作成について協議会で検討。 平成31年6月～　PR用品の作成，配布
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
今後のPR方法について，協議会で検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	地産地消の推進，PRを拡大していくため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
守谷生まれの食品推進協議会で、P R等の施策を検討し、守谷生まれの食品を広く周知していく。	守谷生まれの食品を扱っている店舗や事業所にのぼり旗やシール、ポスターを活用してP Rを図ってもらうため、事業所・店舗の募集を行ったが、39店舗の登録にとどまっているため、今後、もっと多くの事業所や店舗の登録を目指したP Rを図る。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
食のまちづくりの推進に関する施策数（施策）	0.00	2.00	2.00	3.00	2.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	募集したロゴマークやポスターを活用するとともに具体的なPR方法等について施策を検討し、守谷生まれの食品を取り扱っている店舗・事業所に配付してPRを図ったことにより、登録する店舗数が増えた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	「守谷生まれの食品」について、もっと多くの市民へのPRを図るため、登録事業所や店舗が一覧できるパンフレット等を作成し、配布する。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	45	488	151	1,315	1,315
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	45	488	151	1,315	1,315
正職員人工数（時間数）		253.00	808.00	301.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,037	3,313	1,257	0	0
トータルコスト		1,082	3,801	1,408	1,315	1,315